第 1 回 D&D 検定試験

[設問編]

ゲームサークル Rainbow

いしかわ 編 070723 作 071112 訂正

* * * * *

- 当試験は D&D におけるルール習熟度を確認する目的で作成されており、 PHB に記載されている内容から 100 問が出題されている。
- ・すべての質問にはO×で解答する。
- ・まずは PHB を読まずに解答。いっぺん自分の実力を確認した上で、PHB 読みながら試験してみるもまたよし。
- ・ 解答用紙は9ページにある。切り離して使用のこと。
- ・ 10ページ以降は解答編なので、解答前に読めば死
- ・ 試験時間は 60 分とする。
- ・ 点が悪くても泣かない。

- 【設問 1】 角から覗いていたり、狭間窓から覗いているキャラクターは、反応セーブへのボーナスが適用できる攻撃に対して、"身かわし強化"の利益を得る。
- 【設問2】 接触呪文のチャージを保持したキャラクターは1回の全ラウンド・アクションを使えば、最大で6人までの仲間に接触できる。
- 【設問3】「直感回避」の能力を持つバーバリアンやローグは立ちすくみ状態にならないため、自分よりもイニシアチブが早い敵や、透明な敵から攻撃された場合でも、AC に対する敏捷力ボーナスを失わないですむ。
- 【設問 4】 遠隔攻撃を行うクリーチャーのすべての角と、その目標の任意の角 1 つとを直線で結び、どれか 1 本でも障害を通過していれば、目標は遮蔽を得る。
- 【設問5】 《武器の妙技》を取得している場合、組みつき判定に【筋力】修正値ではなく、【敏捷力】修正値を使うことができる。
- 【設問 6】 射程単位 100ft のロングボウで 100ft 先の目標を狙う場合は距離によるペナルティがない。
- 【設問 7】 PHB 掲載種族・クラスで作成できるできる 1 レベルキャラクターの hp 最大値は 22 点である。
- 【設問8】 不意打ちラウンドには突撃を行うことはできない
- 【設問9】 伏せ状態から立ち上がる際に機会攻撃を受けた。相手が足払いを選択し対抗判定に負けた ため、立ち上がった後で再び伏せ状態になった。
- 【設問 10】 術者はレジストエナジーの呪文を準備する際、抵抗を得られるエネルギーの種類を[音波] [酸][電気][火][冷気]の5種類の中から選ばなければならない。
- 【設問 11】 ≪二刀流≫を持つキャラクターが両手に武器を持っている時や双頭武器を持っている時、追加攻撃を行う際には、通常の複数回攻撃と同じように全力攻撃アクションを行わなければならない。
- 【設問12】エルフの属性は混沌に偏りがちである。
- 【設問 13】 レベル 10 クレリックの基本攻撃ボーナスは+8 である。
- 【設問 14】 PHB ルールで作成できる 1 レベルクレリックが 1 日に使用できる呪文回数は、0 レベル 3 回、 1 レベル 2+1 回の計 6 回である。
- 【設問 15】 知力】16の人間のバードを作成したら、最初に与えられる技能ポイントは32ポイントになる。
- 【設問 16】 〈忍び足〉を用いて〈装置無力化〉に伴う音を弱めることができる。
- 【設問 17】 《呪文距離延長》の特技により、ライトニング・ボルトの距離を 2 倍にして放つことが可能である。

- 【設問 18】 A と B が組み付き状態である。この時 C が遠隔攻撃で B を目標に攻撃した場合、A と B どちらにあたるかランダムにロールして決定する。(防御側[A もしくは B]は AC への敏捷力ボーナスは失っている)。
- 【設問 19】 君と組み付き状態の敵を、君が攻撃(素手打撃、肉体武器、軽い武器)する場合、相手の 【敏】を無視して攻撃できる。
- 【設問 20】 6 レベルファイターが「敵が近付いたら攻撃」と言う条件の待機アクションをとった場合、全力 攻撃を行うことで 2 回の攻撃が可能である。
- 【設問 21】 《強行突破》は移動や移動アクション(武器をしまう、アイテムを取り出すなど)の際発生する機会攻撃に対し、AC+4のボーナスを与える。
- 【設問 22】 《二刀流》を持つレンジャーが利き手にシミター、逆手にレイピアを持った際、命中判定に被るペナルティは-2/-2 である。
- 【設問 23】 不意打ちラウンドには標準アクションしかとれないので、全ラウンドアクションを必要とする 全力攻撃(連撃や速射、突撃など)はできない。
- 【設問 24】 移動困難な地形にいる状況で、全力攻撃アクションを行った場合、5 フィート・ステップは行うことができない。
- 【設問25】レイズ・デッド呪文では来訪者を蘇らせることはできない。
- 【設問26】レイズ・デッド呪文ではエルフを蘇らせることはできない。
- 【設問 27】 スパイクトチェインで、あるクリーチャーの向こうにいる別のクリーチャーに機会攻撃を行うことができる。
- 【設問28】 超常能力はディスペルマジックによって解呪されない。
- 【設問 29】 信仰呪文の使い手が呪文を準備するためには休息時間を必要としない。
- 【設問30】 戦闘で倒したホブゴブリンの着ていた高品質のフル・プレートを奪ったので、その場でそれ に着替えて使用することにした。
- 【設問 31】 待機していたアクションの一部として、5フィートステップを行うことができる。
- 【設問 32】屋外の何もない場所で飛行クリーチャーに乗っている 20 レベルのモンクが 30ft の高さから落ちた。彼は浮身の能力のおかげでダメージを受けずに済む。
- 【設問33】 ハイローニアス神に仕える秩序にして中立の11レベル・クレリックに対してディテクト・グッドの呪文を発動した。このクレリックは"圧倒的"な善のオーラを放っている。

- 【設問34】「敵が呪文の発動をはじめたら、マジックミサイルで攻撃」と言う待機アクションが実行された場合、敵は〈精神集中〉判定に失敗すると呪文を失う。
- 【設問35】《武器熟練(ロングソード)》を持つ者が両手にロングソードを持ったとき、《武器熟練》による 攻撃へのボーナスは任意の手の武器の命中にのみ適用される。
- 【設問36】 オットーズ・イレジスタブル・ダンスで踊っている仲間を援護した場合、あなたは機会攻撃の対象になる。
- 【設問 37】 巻物を防御的発動する(=機会攻撃を誘発しないで呪文を発動する)ことができる。
- 【設問38】 ウェブ(ウィザード/ソーサラー 2レベル呪文)は、2つの固定点として壁と床を選べば固定できる。
- 【設問 39】 【敏】が 16 で《迎え討ち》を持つファイタ―は 1 ラウンドに最大 3 回の機会攻撃が可能である。
- 【設問 40】 ロングソードによる攻撃ボーナスの総計が+10 のファイターがいる。彼が AC35 のドラゴンを攻撃したとき、d20 の出目は 19 であった。この攻撃は命中する。
- 【設問 41】〈解錠〉の技能修正値の総計が+19 のローグがいる。 彼は難易度 20 の鍵を解錠するとき、 決して失敗しない。
- 【設問 42】 ソーサラーが 1 標準アクションの発動時間を持つ呪文に呪文修正特技を適用した場合、呪文が効果を発揮するのは次のラウンドの開始時である。
- 【設問 43】 スリープで眠った仲間を起こす行動は、標準アクションであり、機会攻撃を誘発しない。
- 【設問 44】 超大型サイズまでの生物は 5 フィート・ステップが、それ以上(巨大~)になれば 10 フィート・ステップがそれぞれ可能である。
- 【設問 45】以下の行動にルール的な問題はない。「ライカンスロープに襲われている仲間を助けるため、 1 レベルのローグが持っていたショートソードをその場に落とし、10 フィート移動してライカン スロープの背後に移動しつつ腰から銀製のダガーを取り出し、攻撃した」。
- 【設問 46】 《早抜き》と《速射》を習得していれば、基本攻撃ボーナスにかかわらず 1 ラウンドに 3 回の攻撃が可能である。
- 【設問47】フルプレートを着た人間のバーバリアンが疾走すると、1ラウンドで80フィートを移動できる。
- 【設問 48】 属性が真なる中立のキャラクターは、属性が秩序にして中立、真なる中立、混沌にして中立、 中立にして善、中立にして悪の神格のクレリッククラスになることができる。
- 【設問 49】 以下の行動にルール的な問題はない。『聖カスバート(秩序にして中立)のクレリック(秩序に して善)が、サモンモンスターI 呪文を使用し、フィーンディッシュダイアラットを招来した。』

- 【設問 50】 壁に幅3インチ、高さ5フィートの矢狭間が開いている。この矢狭間を通して効果線を引くことができる。ただし、効果線とは呪文が作用するかどうかを示す、直線のことである。
- 【設問 51】 〈呪文学〉判定でポーションを鑑定できる。その場合の難易度は呪文レベルが 1 レベルであろうと、3 レベルであろうと 25 である。
- 【設問 52】 ハーフリングのバーバリアンが、ハイドアーマーを着用して中荷重状態であるとき、その地上移動速度は 25 フィートである。
- 【設問 53】 ドワーフのバーバリアンが、ハイドアーマーを着用して中荷重状態であるとき、その地上移動速度は 30 フィートである。
- 【設問54】 人間用のグレートソードは、中型サイズの物体である。
- 【設問55】 聴覚喪失状態のキャラクターはイニシアチブ判定に-4 のペナルティを受ける。
- 【設問 56】シー・インヴィジビイティ呪文ではエーテル状態のものを見ることはできない。
- 【設問 57】 呪文の発動がフリー・アクションの呪文は呪文構成要素の有無にかかわらず機会攻撃を誘発しない
- 【設問 58】 術者は呪文を使用する時点で呪文の目標、効果範囲の位置などを決定しておく必要がある。
- 【設問 59】 呪文抵抗を持っているクリーチャーは他のクリーチャーの呪文の効果を術者レベル判定なし に受けるためには標準アクションで自発的に抵抗を止める必要がある。
- 【設問 60】 呪文抵抗持ちのクリーチャーが自分自身を目標に呪文を唱えた場合、術者レベル判定なしに呪文の効果を受けるためには標準アクションで自発的に抵抗を止める必要がある。
- 【設問 61】 クレリックは〈知識(宗教)〉を 5 ランク獲得すれば、アンデッド退散判定に+2 のボーナスを得られる。
- 【設問 62】 迫り来るトロルを見た PC たちが、トロルのことを知っているか否かをチェックする際用いるのは〈知識(自然)〉である。
- 【設問63】 《武器の妙技》は素手打撃に適用することができる。
- 【設問 64】コーズ・フィア一呪文のセーヴに失敗して逃げだしたものは、逃げる際手に持っているものを落とす。
- 【設問 65】 キュアシリアスウーンズのポーション(術者レベル5)やファイアーボールのワンド(術者レベル5)は呪文抵抗判定の最大値が25なので呪文抵抗27を持つラクシャーサには効果がない。

- 【設問 66】 ある遭遇で、バーバリアンが激怒を終了し、疲労状態になった。そこでレッサー・レストレーションをかけ、疲労状態を取り除いた。バーバリアンはもう一度激怒し、激怒しながらの戦闘を続行できる
- 【設問 67】 ウェブ呪文の効果範囲は半径20フィートの拡散なので、高さ40フィートまでの床と天井に固定することができる。
- 【設問 68】 呪文の効果範囲「爆発」は曲がり角を回り込む。
- 【設問 69】 威力強化された上に威力最大化され距離延長され動作省略された呪文は本来より 8 レベル 高いスロットを使用する。
- 【設問 70】 以下のボーナスは、同名のものであった場合いかなる場合でも累積せず最もよいボーナス だけが適用される。 [鎧ボーナス、回避ボーナス、状況ボーナス、外皮ボーナス、技量ボーナス、強化ボーナス]
- 【設問 71】 以下の各状態のクリーチャーにはとどめの一撃を行う事ができる。 [睡眠状態、麻痺状態、気絶状態、縛られている状態]
- 【設問 72】 聴覚を失った術者はすべての呪文の発動において 20%の失敗確率を有する。
- 【設問 73】以下の行動をとることはできない。「マジック・ミサイル呪文で悪のクレリックの祭壇に飾られた魔王の象徴をねらい打ちにする」
- 【設問 74】 脅威となるものや気を散らすものがない場合、技能判定に出目 10 で他のキャラクターへの 援護をすることができる。
- 【設問 75】 リムーブ・フィアー呪文の影響下にあるクリーチャーは〈威圧〉との対抗判定に+4ボーナスを得る。
- 【設問 76】 盲目状態のクリーチャーが移動困難な地形を移動する場合、2 倍の 2 倍で、各マス目を 4 マスと数える。
- 【設問 77】 3レベルパラディンは〈威圧〉技能による効果を受けない。
- 【設問 78】ドルイドは金属を主として作成された武器・防具を装備すると、一部クラス能力に制限を受ける。
- 【設問 79】 ノームのウィザード 5/ファイター1のキャラクターがいる。彼女は経験値を得る際、-10%のペナルティを受ける。
- 【設問80】 あるドワーフファイターが5000xpを有している。彼はある日冒険から戻り、6000xpを得た。現在の彼のレベルは5レベルである。

- 【設問81】修得時のみ使用できる技能の一つに〈動物使い〉があるが未修得でも【魅力】判定で"動物を扱う"ことが出来る。
- 【設問 82】 軽業や蹴散らしを使わなければ、仲間ではないクリーチャーが占めているマスを通過できない。
- 【設問83】 ローグが急所攻撃で追加ダメージを与えるには、軽い武器を使う必要がある。
- 【設問84】 テレポートは術者レベルごとに1体の、同意する中型または小型サイズのクリーチャー(と、 その最大過重までの物品)、ないしそれに相当するものを連れてゆくことができる。
- 【設問85】 エンラージ・パースンの発動時間は1ラウンドである。
- 【設問86】 《素手攻撃強化》を持たなくても素手で致傷ダメージを与えることができる。
- 【設問 87】 ウィザードが敵 A と味方 B を巻き込んでスリープを発動した。敵 A は4HD のオーガであり、 味方 B は4レベルのファイターである。基点からの距離が等しい場合、A と B のどちらがスリ ープの対象になるかはダイスをロールしてランダムに決定する。
- 【設問88】ドルイドの相棒では無い、戦闘用に訓練された動物に敵を攻撃させるには、毎ラウンド移動 アクションで「攻撃しろ」の芸を命令する必要がある。
- 【設問89】 ライトメイスでは無防備状態の敵へのとどめの一撃を行うことができない。
- 【設問 90】 武器習熟を持たない武器で戦闘する場合、そのキャラクターは攻撃ロールに-4のペナル ティを受け、武器ダメージに【筋力】ボーナスを加算できない。
- 【設問 91】 自分に使用された呪文が何であるかを判別するには〈呪文学〉が、ディテクトマジック呪文で 魔法のオーラの系統を判別するには〈知識(神秘学)〉がそれぞれ必要となる。
- 【設問 92】 大型クリーチャーにとって、小型サイズのクリーチャー用のグレートソードは「軽い武器」である。
- 【設問 93】 防寒服は探検家の服と比べ非常に重いので、【筋力】に気をつけて装備する必要がある。
- 【設問 94】 極小サイズのクリーチャーは、1マスに 100 体入ることができる。
- 【設問 95】 あるクリーチャーが間合い15' で近接攻撃を行い、仲間と近接戦闘状態にあるとき、クリーチャーに対して仲間が遮蔽にならない立ち位置から遠隔攻撃を行う場合、攻撃ロールに-4 (近接攻撃中の敵への攻撃)のペナルティを受ける。
- 【設問96】ロングボウは騎乗状態では使用できない。
- 【設問 97】 ウィザードが呪文を回復するための睡眠をじゃまされたら、そこから再度 8 時間休息しないと 呪文は回復しない。

- 【設問 98】 PHB に掲載されたルールで作成できる 1 レベルのファイターでも、マジックアイテムや魔法の助けなしに、武器攻撃で 1 ラウンド総計 100 点以上のダメージを出せる。
- 【設問 99】 "【敏】14、シールド呪文、メイジアーマー呪文を使用したウィザードがいる。彼は通常 AC20 だが、ゴーストの接触攻撃に対しては AC は 16 しかない。

【設問 100】 p3.5 版の筆頭デザイナーはアンディ・コリンズである。

問	回答	問	回答	問	回答	問	回答	問	回答
【設問1】		【設問21】		【設問41】		【設問61】		【設問81】	
【設問2】		【設問22】		【設問42】		【設問62】		【設問82】	
【設問3】		【設問23】		【設問43】		【設問63】		【設問83】	
【設問4】		【設問24】		【設問44】		【設問64】		【設問84】	
【設問5】		【設問25】		【設問45】		【設問65】		【設問85】	
【設問6】		【設問26】		【設問46】		【設問66】		【設問86】	
【設問7】		【設問27】		【設問47】		【設問67】		【設問87】	
【設問8】		【設問28】		【設問48】		【設問68】		【設問88】	
【設問9】		【設問29】		【設問49】		【設問69】		【設問89】	
【設問10】		【設問30】		【設問50】		【設問70】		【設問90】	
【設問11】		【設問31】		【設問51】		【設問71】		【設問91】	
【設問12】		【設問32】		【設問52】		【設問72】		【設問92】	
【設問13】		【設問33】		【設問53】		【設問73】		【設問93】	
【設問14】		【設問34】		【設問54】		【設問74】		【設問94】	
【設問15】		【設問35】		【設問55】		【設問75】		【設問95】	
【設問16】		【設問36】		【設問56】		【設問76】		【設問96】	
【設問17】		【設問37】		【設問57】		【設問77】		【設問97】	
【設問18】		【設問38】		【設問58】		【設問78】		【設問98】	
【設問19】		【設問39】		【設問59】		【設問79】		【設問99】	
【設問20】		【設問40】		【設問60】		【設問80】		【設問100】	